



シンガポール

NCB 海外レポート

スマート・シティ「シンガポール」の都市風景④

～スマート・シティを支えるデータセンター～

◇ 世界トップレベルのデータセンター集積地 ～世界最高水準の競争力～

・新技術の研究開発や実証実験など、あらゆる産業のエコシステムが形成されているシンガポールですが、これらの基盤となるデータセンターも数多く集積しており、東京 23 区ほどの国土に約 80 拠点もの施設がシンガポール内外の事業者により設けられています。

・米不動産大手 C&W 社が発表した 2022 年都市別データセンター競争力ランクでは、通信/事業環境、政治の安定性、セキュリティ、自然災害の低さなどが評価され、シンガポールは第 2 位に位置付けられています。

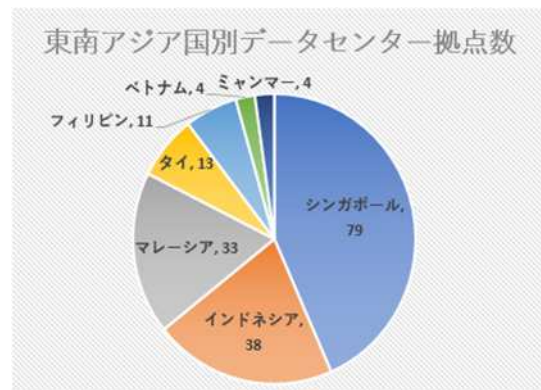
2022年データセンター都市別競争力ランク（米C&W社発表）

順位	都市	順位	都市
1	米国・バージニア州北部	6	香港
2	シンガポール	7	米国・フェニックス
	米国・シリコンバレー	8	豪州・シドニー
4	米国・シカゴ	9	米国・ダラス
	米国・アトランタ	10	米国・シアトル

・データセンター関連の情報サイト BAXTEL によると、東南アジアには約 180 拠点のデータセンターが存在しますが、そのうち約 4 割がシンガポールに集約されており、東南アジアにおけるハブ機能を果たしていることがうかがえます。



地場事業者の大型データセンター（2022 年 2 月撮影）



BAXTEL ホームページより作成

◇ 省エネ型データセンターへのシフト

・多くのデータセンターが集積しているシンガポールですが、同国政府によるとデータセンターの消費電力は 2020 年の同国全体の 7%を占めていることから、シンガポール政府は今後、省エネ型の施設に限って投資を認可する旨の方針を打ち出しました。

・こうした施策を背景に、地場業者が省エネを目的とした洋上データセンターの開発を発表しています。今後はシンガポールを起点に、世界のデータセンターの在り方が劇的に変化していくかもしれません。

2022 年 3 月 16 日作成

西日本シティ銀行シンガポール駐在員事務所